

## あいさつの街の看板



今まで、「子どもを守る地域の会」で作成していたあいさつの街の看板を、松浪地区に掲示していましたが、今後は、「松浪地区まちぢから協議会」で続けていきたいと思っております。

今回は、松浪中学校の美術部の皆さんに部活の時間に制作していただきました。美術部の皆さんが茶色い杉板にシルクスクリーンで文字を印刷して、まわりにそれぞれ思いを込めた絵を描き、個性あふれた素敵な看板が出来上がりました。部員の方からは、「初めての経験でしたが、看板をつくること自体がとても楽しかったです。」「あいさつは今までもしていたのですが、作品に対して気持ちを込めて作っていると、あいさつにも気持ちを込めることの大切さを感じました。」と、感想を語ってくれました。中学生の皆さんが喜んで看板を制作し、あいさつの大切さを感じてくれました。各自治会に少しずつ配っていきますので、お家の塀などの目立つところに掲示してください。(記：佐々木)

### 中学生の感想

看板をきっかけにあいさつをしてもらえるように、看板が目にとまるような配色になるように工夫しました。

自分たちの表現した作品が地域にかざられると思うと嬉しいです。



絵具の色分けや配色を考えるのが難しかったと同時に自由に考えられたので楽しかった。

文字を引き立てるための背景の色合いを考えるのが難しかったです。

1枚1枚デザインを変えるためにたくさんのアイデアを出すことを頑張りました。



### 編集後記

★ここ松浪地区で、学校と地域の方々、保護者が相互に協力して地域全体が学びの場となるように、老若男女問わず全員が安心・自信・自由を持って生きられるよう、丁寧に交流を図ってまいりたいと思っております。

(松浪中学校 PTA 会長 小松 真生)

★今年度も不安と不自由の残るなかでのスタートとなりました。地域がより豊かになるために、この状況下でできることを考え、お手伝いをしていきたいと思っております。

(汐見台小学校 PTA 副会長 三島 理沙子)

★学校経営のスローガンは「できることをふやそう 自ら考え、判断し、行動しよう 仲間と協力しよう」です。制限の多い日々ですが、子どもたちは元気に過ごしています。いつも温かく見守っていただき感謝しております。

(緑が浜小学校 PGT 副会長 和田 久美子)

## まつなみだより

### 会長あいさつ

松浪地区まちぢから協議会 会長 前田 積

東京オリンピック・パラリンピックの開催日も日数を数える時期となりました。聖火ランナーが日本各地をまわり、トーチキスなどにより聖火をつないで、国立競技場に設置されている聖火台を目指して頑張っています。しかしながら、未だ収束が見えないコロナ禍です。早く世界中の人々がマスクなしの笑顔で会話ができたらと思います。

令和3年の松浪地区まちぢから協議会総会が5月19日に開催され、無事終了しました。総会では2月にお亡くなりになられた副会長 松井氏の後任に朝岡氏、書記に刈間氏が承認され、まちぢから協議会は新年度をスタートさせました。また、松浪コミュニティセンター管理運営委員会の副委員長と常任委員としても同様に両氏に就任していただくこととなりました。

今年度もまちぢから協議会は、昨年同様いろいろな事業を計画しています。新型コロナウイルス感染状況によって予定通りに実施できるかどうか分かりませんが、行政、各団体、そして地域の皆さまと共に頑張つて、松浪コミュニティセンターを含め松浪地域全体を盛り上げていきたいと思っております。

この度、松浪コミュニティセンターは新型コロナウイルスのワクチン接種会場となり、6月から月1回～2回予約者の接種を行っております。



### 令和3年度 松浪地区まちぢから協議会 定期総会を開催

松浪地区まちぢから協議会 副会長 朝岡 通光

昨年1月に国内で初めて新型コロナウイルスの感染者を確認して以来、コロナ禍は全国に拡大し、大都市府県を中心とした「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が発出され、地域によってはその発出が繰り返されています。今年の4月には神奈川県にも「まん延防止等重点措置」が発出され、茅ヶ崎市も措置区域の対象に指定されている現状です。

昨年度の総会は、茅ヶ崎市の「新型コロナウイルス市内感染のまん延防止に係る取り組み方針」に基づき書面表決と致しましたが、今年は今まで以上に座席の間隔を空けて換気をし、会場の三密を避けての感染防止対策を徹底し、5月19日に開催致しました。

定期総会は運営委員32名全員が出席し、令和2年度の活動自粛制限の中での活動報告及び令和3年度計画の説明が行われました。

令和2年度のまちぢから協議会の事業報告・決算報告、松浪自治会館の決算報告、松浪コミュニティセンター・子どもの家なみっこ指定管理業務の事業報告・決算報告について審議され、4名の監事による監査報告もあり、

全会一致で可決されました。

つづいて、令和3年度のまちぢから協議会役員、松浪コミュニティセンター管理運営委員会役員の選任(次ページ参照)、まちぢから協議会の事業計画案・収支予算案、松浪自治会館の収支予算案、松浪コミュニティセンター・子どもの家なみっこ指定管理業務の事業計画案・収支予算案が審議され、全会一致で可決されました。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底の為にコミュニティセンターの3ヶ月間の閉館を始め、各部会の活動も自粛せざるを得ない状況でした。令和3年度はコロナ禍に翻弄されることが無いように、引き続き感染予防の徹底を図り、一部皆さまにはご不便、ご負担をお掛けしますが、いろいろ工夫をしながら事業や活動を心掛けてまいります。



令和3年7月15日発行(第23号)  
発行：松浪地区まちぢから協議会  
HP：https://matunami.jimdo.com/  
印刷：(有) 仲手川印刷



## 令和3年度 新役員の報告

### 松浪地区まちぢから協議会 新運営委員

団体名	新委員
富士見町自治会	佐藤 充
汐見台自治会	谷口 哲
汐見台小学校PTA	三島理沙子
緑が浜小学校PGT	和田久美子
松浪中学校PTA	小松 真生
公募委員	川田 昌子
	長崎 利明

### 松浪地区まちぢから協議会 部会長ほか

部会名等	役職	氏名
市民安全部会	部会長	白石 壽明
	副部会長	瀧川 一輝
防災対策部会	部会長	中井 汎
	副部会長	辻 俊子
自治会長部会	部会長	朝岡 通光
松浪コミカフェ委員会	委員長	原屋敷典子
松浪自治会館管理運営委員会	会計	中井 汎

### 令和3年度 松浪学区小・中学校 校長先生／教頭先生

学校名	校長先生	教頭先生	学校名	校長先生	教頭先生
松浪小学校	安倍 武雄	松永 昭治	松浪中学校	亀田 春彦	譜久山 文野
緑が浜小学校	柴田 貴行	村山 智宏	浜須賀中学校	一星 光利	荒川 融
汐見台小学校	大越 敏孝	高野 敦			

### 令和3年度 松浪地区まちぢから協議会関係行事予定一覧

期日	行事	場所	時間	主催等	備考
8月(土曜日)	盆踊り大会・模擬店	松浪小学校	—	体育振興会	※中止決定
9月(土曜日)	松浪地区会議	松浪コミュニティセンター	未定	まちぢから協議会	
10月(土曜日)	コミセンまつり	松浪コミュニティセンター	—	まちぢから協議会	
10月(日曜日)	地区市民体育祭	松浪小学校	—	体育振興会	
10月(日曜日)	福祉ふれあいまつり	松浪小学校	—	地区社協	
11月(日曜日)	地区防災訓練	各小中学校	未定	まちぢから協議会	
1月(土曜日)	賀詞交歓会	松浪コミュニティセンター	17:00	まちぢから協議会	
2月(土曜日)	ふれあいネットワーク交流会	松浪コミュニティセンター	13:00	地区社協	
2月(水曜日)	視察研修	未定	—	まちぢから協議会	

※新型コロナウイルスの影響のため期日未定(例年開催の月及び曜日のみ記載)

#### 松浪朝市

毎月第1・第3日曜日 8:00~9:00 ※1月は年末年始の関係から第3日曜日のみ  
場所:松浪コミュニティセンター駐車場

### 松浪地区まちぢから協議会 役員

役職	氏名	
会長	前田 積	
副会長	末松 一豊	朝岡 通光
会計	杉本 誠	刈間 昌仁
書記	佐々木 睦子	刈間 昌仁
	菊池 紀子	中井 汎
監事	櫻井 武一	辻 俊子

### 松浪コミュニティセンター 管理運営委員会役員

役職	氏名	
委員長	前田 積	
副委員長	朝岡 通光	原屋敷典子
会計	杉本 誠	
常任委員	佐々木 睦子	刈間 昌仁

## 松浪地区さんぽ道 ~松浪小学校誕生物語2~ 元松浪小学校教頭 鴨志田 聡



今回は松浪小が松林小から分かれて新設されるに至った経過についてお話ししたいと思います。PTA広報誌特集「松浪小学校の生い立ちとあゆみ」(平成8年)に寄せられた当時の保護者の方の思い出を少し長くなりますがご紹介します。

「私が松浪地区に住みついたときは、家のまわりはイモ畑の中で、窓からはみどりの松と美しい富士の姿をながめながら、幼い子どもたちと過ごしたことが、この間のことのように思い出されます。やがてまわりに次々建つ家にかこまれて、テレビのアンテナがものめずらしく屋根の上にはばばらと見られるようになり、この地域も住む人が増えてきました。

そのころ、長男の新入学がせまってきましたが、近くに小学校はなく遠くしかも危険なふみ切りと国道をこえて、松林小学校へ通うしかありませんでした。教育関係の方や地元有志の方々の努力が実って、松浪小学校の設立の声が上がったとき、私たちの喜びはたえようもありませんでした。一日でも早くその実現を祈りたいほど、期待していました。

ようやく松浪小学校はできましたものの、校舎の完成を待たず、長男は松林小学校の一年生として入学(昭和31年のこと)。松林小学校に間借りをしながらの授業で、雨の日も風の日もわが子の手を引いて、遠くて長い道を送り迎えしたことは、今も忘れることはありません。やがて、松浪小学校の校舎もできて(昭和32年のこと)、一・二年生の引越しがあり、家族一同で喜びました。(H・Kさん)



昭和31年(1956年) 松浪小建設予定地遠景。松並木の先に富士山が見える



昭和22年(1947年) 65年前の松浪地区の様子  
~畑(麦やイモ)と田んぼが広がっていた~  
現・松浪小  
松浪小  
平成3年(1991年)

松浪地区の宅地化の進行により児童数は増え、自動車などの交通量も増えてきた頃です。通学時、子どもたちが東海道線の踏切と国道1号線を越えて松林小までの長い道のりを歩いていくことの危険解消は地域の大きな課題となっていました。しかし、当時、赤字財政の状況にあった茅ヶ崎市が、松浪小の新設を認めてくれることは簡単ではありませんでした。(次回に続く)

### 「趣味の冊子」を作りました!!

「何かはじめたいな。近所でどんな活動をしているの?」という地域の声をきっかけに、松浪地区で現在サロン・趣味活動をしている人達や、これから活動したいと考えている人達の情報をまとめた冊子を、茅ヶ崎市社会福祉協議会と共同で作成しています。

自宅でカラオケサロンを開催している人、店舗だったスペースをリフォームして囲碁サロンを作った人、子ども向けにプログラミング教室を開催しようと思っている人など、色々な人やサークルを取材し、それぞれのチラシを作成。それを一冊のファイルにまとめて、コミセン、クリニック、美容院、飲食店等計54か所に設置させて頂いています。



チラシ作成の為に取材を通じ、松浪地区は魅力的な人が多いと日々感じています。そ

### 松浪地区地域包括支援センターさざなみ

の魅力的な人達の力が結びつき、一方通行でなく、「お互いさま」の関係が、子どもから大人まで世代関係なくできると良いと思っています。その為の、つなぎ目の役割の一助を担うことが出来るよう、今年度も地域ケア会議(注1)を通じ、皆様に意見を頂きながら、皆様の地域づくりをサポートしてまいります。



この表紙が目印です!

注1)地域の支援者や専門機関が集まって、顔の見える関係を作りながら、地域の中でどんなことが問題になっていて、どんなしくみがあつたらいいのか、話し合いをする会議です。令和2年度はまちぢから協議会終了後に開催し、「趣味の冊子」作成の経緯等報告いたしました。